

看護学科の教育内容

★ディプロマポリシー

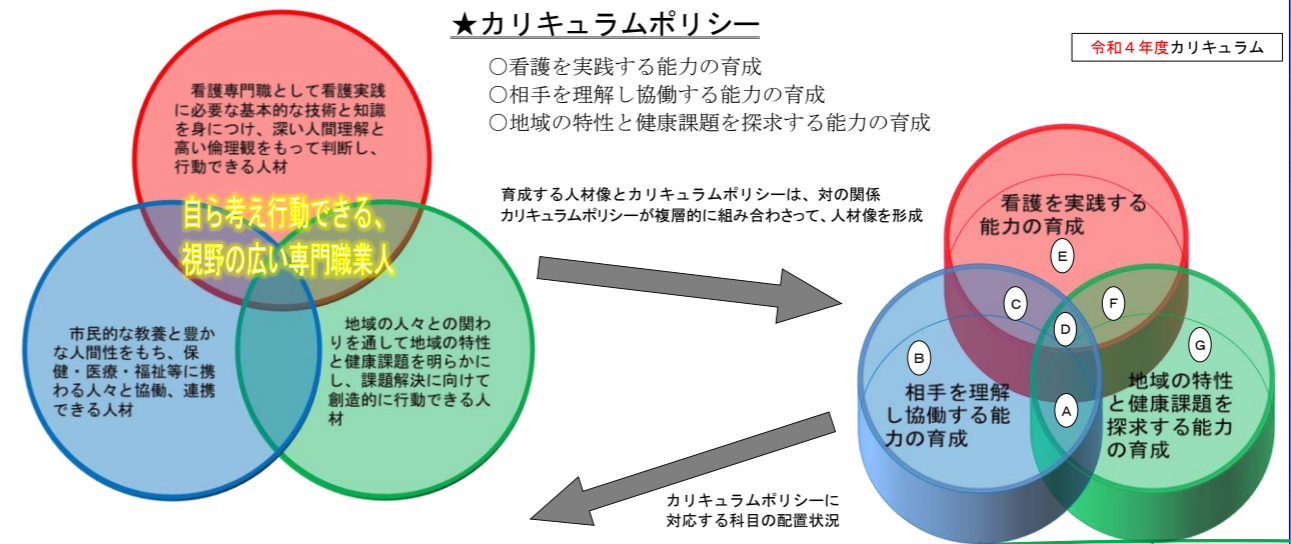
看護学科では、所定の期間在学し、所定の単位を修得することで、以下の要件を満たしたと認められる学生に対し、学士（看護学）の学位を授与する。

- 基礎的な専門知識と技術を身につけ、科学的かつ倫理的判断に基づく看護実践ができる能力を備えている。
- 人の生き方や価値観を尊重し、援助関係が形成できる能力、また多職種と協働・連携する能力を備えている。
- 地域特性を理解して多職種と協働・連携し、人々の健康上の課題解決を図る基礎的能力を備えている。
- 研究的な姿勢を持ち、人々の健康の維持・増進に寄与する能力を備えている。

★カリキュラムポリシー

令和4年度カリキュラム

- 看護を実践する能力の育成
- 相手を理解し協働する能力の育成
- 地域の特性と健康課題を探究する能力の育成



年次	学期	領域 A	領域 B	領域 C	領域 D	領域 E	領域 F	領域 G
4年次	秋期				看護研究Ⅱ			
	春期				看護管理論			
3年次	秋期				看護総合実習			
	春期				看護研究Ⅰ			
2年次	秋期				看護倫理			
	春期				看護研究の基礎			
1年次	秋期				基礎看護学実習Ⅰ(家庭)			
	春期				基礎看護学実習Ⅱ(病院)			

【凡例】
ゴシック体→必修科目
明朝体→選択科目

看護専門基礎分野 地域・在宅看護分野
基礎看護分野 公衆衛生看護分野
一般教養分野 臨床看護分野 看護の統合分野

相手を理解し協働する能力の育成

- ・コミュニケーション
- ・相手の価値観や立場の違いを理解
- ・相手の尊厳や権利を擁護
- ・人の心を動かす

看護を実践する能力の育成

- ・対象の理解
- ・根拠に基づく計画的な看護を展開
- ・専門領域に対応
- ・安全なケア環境の形成

地域の特性と健康課題を探究する能力の育成

- ・地域（個人、集団）の課題を理解
- ・論理的に思考し、多角的に分析
- ・地域（個人、団体、機関）と連携
- ・主体的に行動、発信